



専攻科ニュース

——専攻科学生の活躍状況——

コロナ禍でも学びを止めない！

令和 2 年度は新型コロナ感染拡大の影響から遠隔授業でのスタートとなりました。一方で、専攻科は研究活動を行う必要があるため、また、学生数が少ないため研究室での密を避けることが可能と判断し、5 月の中旬から、事前に申請のあった学生に対しては登校しての特別実験の実施を許可しました。

一方、特別実験（プロジェクト実験）は「小学校のプログラミング教育のためのコンテンツ開発」をテーマとし、完全にオンラインでの実施としました。毎週、グループごとに異なる教科についてコンテンツを開発し、その成果の発表を繰り返しました。個々の学生がそれぞれの自宅にしながらグループで作業するという、まさにテレワークを経験する機会となりました。



グループごとのオンライン集合写真

特別実験の成果は、8 月 12 日（水）10:00～12:00 に、ひたちなか市教育委員会との連携事業である「プログラミング教育研修会」において、ひたちなか市の小学校教諭及び教育委員会の関係者へ披露するとともに、開発した教育コンテンツを記録した DVD を配布しました。研修会の詳細は以下のページへ記載しましたので参照してください。

<https://www.ibaraki-ct.ac.jp/?p=27185>

また、コロナ禍はインターンシップの受け入れにも大きな影響を与えました。コロナの感染拡大防止の観点からインターンシップ学生の受け入れを取りやめる企業がありました。今年の夏の状況も予測できないため、コロナの感染状況が比較的落ち着いていた春季休暇中に多くの学生がインターンシップに参加しました。

学会等表彰を受けました！

2020 年 10 月 30 日（金）にオンラインで行われた、一般社団法人測位航法学会 GPS/GNSS シンポジウム 2020 ビギナーセッションにおいて、AE コース 1 年生の吉田啓さんが学生優秀発表賞を受賞いたしました。おめでとうございます

います！発表タイトルは、「GNSS 測位による構内巡回警備ロボットの開発」です。吉田さんは、「この研究での賞を、経験を活かして専攻科生活の残り一年で更に成果が得られるよう努力していこうと思います。」と喜びを語っています。受賞の詳細は以下のページへ記載しましたので参照してください。

<https://www.ibaraki-ct.ac.jp/?p=34455>



吉田さんと開発した構内巡回警備ロボット

KEK オンライン講演会を実施

1 月 12 日（火）に、専攻科 1 年生の特別実験の時間を利用し高エネルギー加速器研究機構（KEK）の見学会を計画しました。しかし本校学生や学生の家族が PCR 陽性となるケースが出てきたことにより再び遠隔授業となったことを受け、KEK の見学会は中止とし、その代わりに下記のオンライン講演会を実施しました。学生は自宅から Zoom へ接続し聴講しました。

KEK 素粒子原子核研究所・特任助教

救仁郷（くにごう）拓人 先生

「素粒子物理実験入門また素粒子実験と色々な技術の繋がり」

講演では、素粒子の基礎から未解決問題を解説いただいた後、これらの問題に加速器科学がどのように役立っているのか説明して下さいました。質疑応答では、オンラインであるにも関わらず専攻科学生からたくさんの質問が出されたことに対し、「専攻科の学生のポテンシャルの高さを感じました。学生の皆さんにちょっとでも「面白そう」「自分もやってみたい」「自分も活躍出来るかも？」などと思ってもらえたら、今回私に時間をいただいた分は成功なのかなと思っています。」とコメントをいただきました。

本講演会は、令和 2 年度 KEK 大学等連携支援事業の支援を受け実施しました。

特別研究 I 及び II 発表会

令和3年2月3日（水）、4日（木）に2年生の特別研究IIと1年生の特別研究Iの発表会がコース毎に開催されました。例年と同様に発表会では発表者全員が口頭発表の一部又は全てを英語で行っており、英語を積極的に導入しています。

AI コースの発表会では、タイに滞在中であった蓬萊教授が、自身の研究室の学生の発表時にオンラインで参加しました。コロナ禍の影響による遠隔会議システム技術の急速な発達により、確実に世界の距離は縮まったことを実感する出来事でした。



オンラインで参加中の蓬萊教授

校長と専攻科学生の懇談会を開催

令和3年2月8日（月）15:10-16:00に10号館A講義室において、校長と専攻科学生との懇談会が実施されました。学生からは（AM2）戸崎烈さん、（AE2）雨貝宗吾さん、（AI2）芳師渡淳之介さん（議長）、（AC2）清浦正道さん、（AM1）関有亮さん、（AE1）長谷川祥平さん、（AI1）國井大さん、（AC1）二瓶里佳子（書記）さんの8名が、教職員からは米倉校長、原専攻科長、弘畑専攻科長補佐、高瀬学生課長の4名が参加しました。専攻科生からは主に以下の事項について要望、提案がなされ、意見を交わしました。

- ・情報系の研究設備を増強して欲しい。
 - ・授業開講時にもインターンシップへ参加できるようにして欲しい。
 - ・特別研究発表会が後期末試験直後であることを改善してほしい。
 - ・自転車置き場に放置されている古い自転車の撤去。また自転車が風で倒れない設備の設置。
- 対応できるものから順次対応していきます。

第19回専攻科修了証書授与式

令和3年3月13日（土）13:00～、ひたちなか市文化会館（大ホール）において、第19回専攻科修了証書授与式が挙行されました。今年度は30名が専攻科を修了、学位を取得し、29名がJABEE技術者教育プログラム修了証書を受領いたしました。おめでとうございます。次の学年からはJABEE技術者教育プログラムは実施していない

め、今回の修了生が最後のJABEEプログラム修了生となりました。

式典は昨年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来賓および4年生以下の本科生の式典への参加や吹奏楽部の演奏は行わず、卒・修了生個々の呼名を省略する短縮形式で実施されました。また、保護者の出席も各家庭で1名までに制限、式典後の部活動の後輩等による出待ちは禁止されるなど、万全の感染防止対策の下での実施となりました。



世界に羽ばたけ、30名の修了生！

専攻科最優秀研究発表賞（専攻科長

賞から改称）受賞者の紹介

2年間にわたる特別研究への取り組み及び特別研究II発表会の審査の結果、AMコース：戸崎烈さん、AEコース：雨貝宗吾さん、AIコース：佐瀬凌太さん、ACコース：清浦正道さんの4名が専攻科最優秀研究発表賞（従来の専攻科長賞から改称）受賞者に選ばれました。昨年度から専攻科HPへ記載するとともに、修了式の後に賞状を授与することとしました。4名の受賞学生の皆さん、おめでとうございます。

専攻科長賞から改称した理由は、受賞学生が将来に履歴書等へ受賞歴として記載する場合に、その受賞理由が分かりやすくするためです。



左より、清浦さん、雨貝さん、原専攻科長、戸崎さん、佐瀬さん

専攻科修了生からの修了記念品

第19回専攻科修了生から修了記念品として、本科の卒業生との共同で、「非接触体温測定器」の寄贈がありました。現在（令和3年度3月）のところ、コロナ禍は終息の兆しが見えない状況です。大変役に立つ記念品をありがとうございました。大切に使用していきます。



令和3年度専攻科担当者

令和3年度の担当者は、専攻科長を原嘉昭、専攻科長補佐を弘畑和秀、機械工学コース主任を小堀繁治、電気電子工学コース主任を若松孝、情報工学コース主任を安細勉、応用化学コース主任を依田英介が担当します。今後も専攻科の充実を図りながら、より良い専攻科運営を目指します。

*本ニュースに記載の学年は令和2年度の学年です。

修了生の進路予定一覧

本年度の修了生 30 名の新天地でのご活躍を祈念いたします。

令和3年3月26日現在

	就職内定企業先	進学予定先
AM (1)		東北大学大学院
AE (10)	ENEOS 日立ビルシステム ファナック 富士電機 日立パワーソリューションズ オリエンタルモーター	東北大学大学院 筑波大学大学院 東京大学大学院 横浜国立大学大学院
AI (13)	岡三情報システム 富士通 セゾン情報システムズ 総合科学研究機構 アイ・エス・ピー ネオマウント ソフトバンク	茨城大学大学院 筑波大学大学院 早稲田大学大学院 北陸先端科学技術大学院大学 奈良先端科学技術大学院大学 (2)
AC (6)	雪印メグミルク 日本原子力研究開発機構	茨城大学大学院 東京大学大学院 東京工業大学大学院 京都大学大学院

令和4年度入学者選抜

令和4年度の専攻科入学試験日程は下記のとおりです。

推薦入試	2021年 5月12日 (水)
学力入試	2021年 6月12日 (土)

今回の入試から、本科の改組過程の学生を受け入れることとなります。入学試験の制度は変更ありませんが、入学後の専攻科カリキュラムは本科での学修内容に合わせた改定を予定しており、現在準備を進めています。